

創薬シーズ探索研究における新たな産学の強力タッグ
～田辺三菱製薬株式会社の大規模寄託化合物ライブラリーサンプル提供開始～

平成 28 年 11 月 4 日

東京大学創薬機構

このたび東京大学創薬機構は、田辺三菱製薬株式会社より、これまでにない規模の約 5 万種もの独自化合物サンプルの寄託を受け、それらの化合物サンプルを当機構が管理する化合物ライブラリーに新たに加えることになりました。創薬研究のスタート時点から「産」と「学」が連携することで、発見した創薬シーズを製薬企業に橋渡しできる可能性が高まり、アカデミアの基礎研究成果の社会還元が一層効率化します。

当機構は、生命現象の解明や難病克服など国民の健康増進に貢献することを目標とし、創薬研究の初期段階で必要とされるスクリーニング（新薬の候補となる化合物を探し出す）研究を希望する全国の研究者に多種類の化合物サンプルを提供するとともに、スクリーニング技術の提供やスクリーニング機器の共用により、手厚く支援しています。

今回お知らせした化合物ライブラリーの利用を希望される研究者の皆様は、当機構までお問い合わせ下さい。

問い合わせ：
東京大学創薬機構
特任教授 岡部隆義
特任教授 小島宏建